

▶ やぶかんぞう (ゆり科)



○花被(かひ)

がくと花冠を合わせていう。
 ユリなどのようにがくと花冠にみかけ上の
 ちがいがないうとき、外側の3枚を外花被、
 内側の3枚を内花被という。
 外花被はがく片(がくの1枚1枚)
 内花被は花弁(花びら)にあたる。

葉は根元からで、細長く50~70cm、
 茎の頂に黄赤色、八重の花が咲く。昔
 中国から観賞用、食用として渡来した
 ものが野生化したものと思われる。

花期 7~8月

草たけ 60~100cm

生育地 田の溝、川の堤防

やまゆり ▶
 (ゆり科)

茎頂に花が数個~10数
 個咲き、花被片は6枚、
 内面に赤かっ色のはん点
 がある。花弁の中央脈が
 黄色となっている。りん
 茎は食用となる。

花期 7~8月

草たけ 100~150cm

生育地 山野の草原

